

## 2015 年度 小委員会活動成果報告

(2016 年 2 月 25 日作成)

小委員会名	アジア地域のサステナブル建築環境検討小委員会	主 査 名：久保田 徹 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	地球環境委員会	委員長名：中村 勉
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>発展著しいアジア各国のエネルギー消費量の増大は地球温暖化を助長させる大きな要因である。そこで、アジアの都市とその周辺の農村部における住宅エネルギー消費量の実態を把握し、居住環境要因と住宅エネルギー消費の関連性を構造的に明らかにする。次に、ライフスタイルを考慮した将来予測を行なうことにより、エネルギー消費の増加を押さえつつ快適で健康な室内環境を実現するための省エネルギー政策の基礎となる資料を整備する。</p> <p>初年度： ①居住環境の調査，②非住宅建築のエネルギー実態調査，③自然エネルギー利用に関する調査，④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発，⑤気候変動対策</p> <p>2 年度： ①居住環境の調査（継続），②非住宅建築のエネルギー実態調査（継続），③自然エネルギー利用に関する調査（継続），④アジアにおける建築設備設計用気象データの開発（継続），⑤数値計算に基づく住宅用エネルギー消費の分析の実施，⑥アジアにおける住宅省エネルギー対策の検討</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：久保田徹（広島大学）、幹事：リジャル H.（東京都市大学）、委員：赤司泰義（東京大学）、高偉俊（北九州市立大学）、サンジェイ N.（日本大学）、高口洋人（早稲田大学）、張晴原（横浜国立大学）、外岡豊（埼玉大学）、中上英俊（(株)住環境計画研究所）、福代和宏（山口大学）、吉野博（東北大学）、吉野泰子（日本大学短期大学部）、北原博幸（トータルシステム研究所）</p>	
設置 WG (WG 名：目的)	<p>実態調査WG：アジア地域の居住環境やエネルギー消費の実態把握 将来予測WG：実態調査WGの成果を基に将来予測を行う</p>	
2015 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	4 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	

対外的意見表明・パブリックコメント等	
<b>目標の達成度</b> (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東南アジア地域の住宅内のエネルギー消費量と住まい方に関するデータベースを構築した。 2. インドネシアの中間層を対象とした集合住宅のパッシブクーリングに関する基礎資料を整備した。 3. 中国農村部におけるエネルギー消費実態に関する基礎資料を整備した。 4. インドネシア建築学会との学术交流を推進した。
<b>委員会活動の問題点・課題</b>	アジア地域の海外研究者との交流を一層推進することが課題。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

\*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。